

1. 題材について

(1) 〈生徒の実態〉

明るく、和やかに生活する生徒が多い。部活動や行事など、小学校では経験しなかったことを受け止め、前向きに取り組む生徒が多い。仲間と協働して生活し、クラスという学習集団を高めようとする態度が見られる。

一方、自分勝手、自分本位で他者の考え方や想いを尊重できないことがある。学習面で不安や課題意識を抱いている生徒が相当数いる。クラスとして授業態度や授業規律を正しきれないことがある。全体として粘り強くものごとをやりきる力が乏しい。

(2) 〈題材設定の理由〉

学習態度や授業規律を高め、クラスのメンバー全員で目的意識を共有した学習集団に高めたい。クラスのメンバーは「思いやり」「礼儀」「協力」「ド真剣・全力」に関わる行動や考えを大切にしている。その態度や実践をさらに伸ばしたい一方で学習態度には課題がある。忘れ物があつたり、授業中に不適切なタイミング・内容の言動をする生徒がいたりする。そして、その行動を正すように促す生徒も少ない。だから、クラスが抱える学習面の課題を見いだし、解決のための方法を考え、実行することを通して、クラスのよさ、各個人のよさが磨かれ、課題点が正され、特に学習面への意欲や態度を高めたい。また、自分たちの生活上の課題を他者と協働して解決することの手順や大切さを理解し、合意形成の方法を身に付けさせたい。

2. 事前の活動

目指す児童の姿と評価方法

- ・「授業態度」に関するこれまでの自己やクラスの取組について振り返っている。
 - ・自分の課題について、真剣に受け止めて考え、授業態度をよりよいものにしようと意欲を高めている。
- 〈観察・アンケート調査〉

生徒の活動(・)及び指導上の留意点

- クラス全体の活動や諸活動の振り返りからクラスの課題を洗い出し、クラス向上のための話し合いの機会の必要性を高める。
- ・学級活動委員会アンケートを実施し、それに応じた議題を選定し、話し合いの流れをつくる。
- 話し合い活動の意味や意義をしっかりと確認させる。クラス全体が話合う必要感を高められるようにする。

事前アンケート

中学校生活2ヶ月間の生活を自己評価する

1 できない
2 どちらかといふとできない
3 どちらかといふとできている
4 できている

	(1)	(2)	(3)	(4)
時間	0	4	18	8
あいさつ	0	3	18	9
返事	0	5	17	8
無言膝つき清掃	0	11	15	4
全力校歌	0	9	14	7
靴揃え	1	2	12	15
思いやり	1	2	13	14
協力	2	0	13	15
礼儀	0	4	19	7
聴く	0	4	17	9
ド真剣・全力	1	2	11	16
授業積極性	0	7	20	3
忘れ物・道具	2	5	13	10
提出物	1	4	10	15
予前学習	1	9	14	6
家庭学習	1	6	19	4

3. 本時の活動

目指す児童の姿

- ・クラスの課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成できるようになる。 〈ワークシート・観察〉【知識・理解】
- ・クラスの学習態度をよりよくしようとする意欲や態度を養う。 〈発言・観察〉【関心・意欲・態度】

〈指導過程〉

1. 〈課題の把握〉
アンケートからクラスの実態を把握して、課題を自分事と捉えることができるようになる。
- ・授業態度に対する考えを発表する
 - ・アンケート結果を確認する
 - ・学級の数値や級友の発言からクラスに課題があることに気付く

2. 〈解決方法等の話し合いと合意形成〉
集団思考を通して、複数の視点で解決方法を探ることができるようになる。
- ・どう取り組めばクラスとしてよりよい授業態度になるか考え、発表する
 - ・クラスの現状と級友の実態を踏まえ、実践方法を多面的、多角的に考え、発表する

3. 〈実践上の工夫の話し合いと合意形成〉
継続的に実践ができるように、実践する上で配慮事項を考えることができるようになる。
- ・合意形成の手段を理解し、意欲的に話し合いに参加できたか振り返る。
 - ・今後、どう取り組むか自己評価できる具体的な個人目標を立てる。
 - ・数名の級友の個人目標を聞く

4. 〈個人の振り返り〉
今日の話し合い活動を振り返る。また具体的な個人目標を立てる。
- ・合意形成の手段を理解し、意欲的に話し合いに参加できたか振り返る。
 - ・今後、どう取り組むか自己評価できる具体的な個人目標を立てる。
 - ・数名の級友の個人目標を聞く

4. 事後の活動

目指す児童の姿と評価方法

- ・学級の生活上の諸問題を他者と協働して解決することの手順や大切さを理解し、合意形成の方法を身に付ける。
- 〈ワークシート〉【知識・理解】
- ・クラスの学習態度をよりよくしようとする意欲や態度を養い実践する。 〈観察〉【思考・判断・実践】

生徒の活動(・)及び指導上の留意点

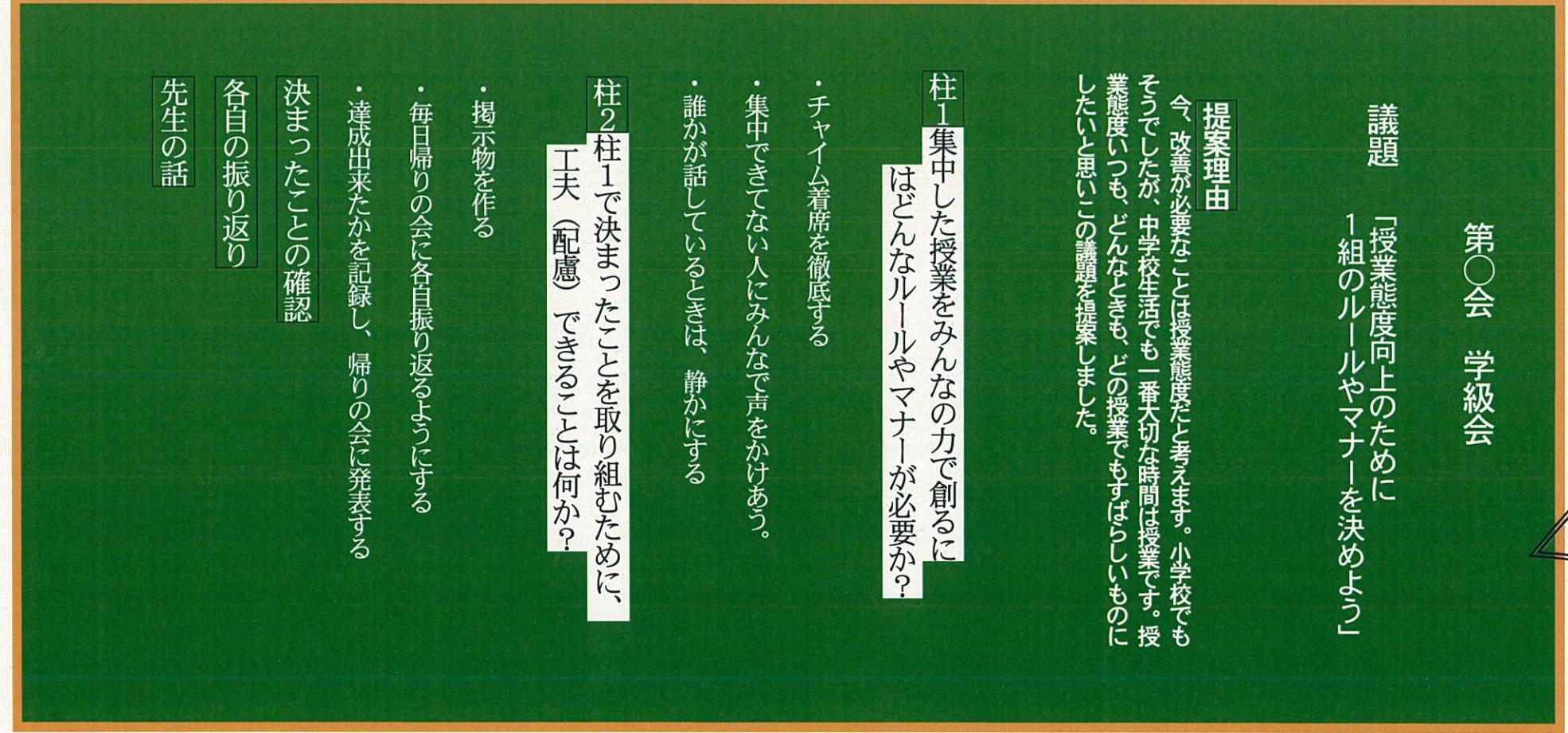
- 今日の話し合いが授業態度向上の意欲を高め、クラスを向上させるものになるという視点で実践できるように助言する
- 議長団や計画委員会の活躍を具体的に触れ、賞賛する。
- 話し合いで決まったことが日々実践できるように指導・助言する。
- ・話し合いの結果決まったことを実践し、各自記録をする。また、適宜振り返る。
- ・実践する中で、修正すべきがあれば各自で修正する。
- 個々の生徒の実践を見届け、修正等が必要であれば、指導し、修正の機会をもつ。
- 継続した実践となるよう助言し、保護者への啓発も行う。
- 頑張りを認めて全体に広めたり、生徒同士励まし合ったりする場を設けて、継続化に向けて意欲の向上を図る。

第〇会 学級会

議題 「授業態度向上のために1組のルールやマナーを決めよう」

提案理由

今改善が必要なことは授業態度だと考えます。小学校でもそうでしたら、中学校生活でも一番大切な時間は授業です。授業態度いつも、どんなときも、どの授業でもすばらしいものにしていく」と思ってこの議題を提案しました。



- 〈よりよい合意形成に向けて〉
- ・意見を出し合う場面では、問題の原因及び改善の必要性を十分に踏まえた上で、多様な意見ができるようにする。必要ならば、事前に考えておくようにする。
 - ・比べ合う活動を重視し、実現可能で有効な解決方法であるかを全体で十分に吟味する。